



▲演奏する二胡愛好会のみなさん

二胡のしらべを聞きながら 母校に思いをはせる

下田南小学校閉校記念コンサート

来年3月に閉校する天草町の下田南小学校で7月14日、「閉校記念コンサート」が開かれ約150人が参加しました。これは、同校の卒業生であり、勤務先の長崎市役所で二胡愛好会の代表を務める白石憲博さんが、在校生と住民の思い出づくりとして企画したものです。二胡とは、三味線のような形をした中国の伝統的な弦楽器。

この日は、白石さんをはじめ同会の会員14人が、歌謡曲やアニメソングなど全18曲を披露。来場者は、美しい音色を堪能したほか、同校の校歌の演奏時には全員で合唱を行うなど、楽しいひとときを過ごしていました。

倉岳えびすビーチの 清掃活動に尽力

天草高校倉岳校が九州地方整備局長から表彰

天草高校倉岳校が7月16日、海をきれいにする団体として国土交通省・九州地方整備局長から表彰を受けました。これは同局が、「海の日」にあわせて毎年表彰しているもの。同校では、長年にわたり倉岳えびすビーチの清掃奉仕活動を実施。環境保全に多大な貢献をしたことが高く評価されました。

同21日には宇城市で表彰式が開かれ、同校を代表して生徒会長の鶴戸智公さんが出席。表彰状を受け取った鶴戸さんは、「これからも天草の美しい海を守っていきたく」と話していました。



▲表彰状を手にする鶴戸さん



▲講話を行う永尾次長

プロスポーツ直伝の体作りや 食事のとり方を学ぶ

河浦中学校「食育講話」

7月19日、河浦中学校でサッカー J2・ロアッソ熊本の永尾健次・チーム統括部次長を講師に招いて「食育講話」が行われ、同校の生徒など155人が参加しました。

「スポーツと食事」と題して行われた講話では、永尾次長がスポーツに欠かせない体作りや食事のとり方などについて説明。「天草には新鮮な魚や野菜など、体作りに必要な食材が身近にたくさんある。これは大きな体を作るチャンス」と話され、参加者は熱心に聞き入っていました。また、講話後にはサッカーボールを使ったゲームを実施し、生徒たちは楽しみながら体を動かしていました。

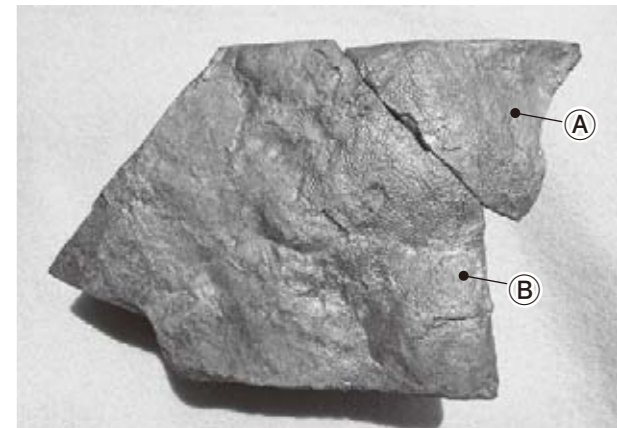
国内2例目とみられる貴重な化石を発見！

“は虫類の皮ふ痕化石”

御所浦白亜紀資料館と福井県立恐竜博物館は7月25日、平成13年に御所浦町の花岡山化石採集場で採集された化石が、国内で2例目とみられる“は虫類の皮ふ痕化石”であると発表しました。この化石は、まず、当時化石採集に訪れていた岡本篤志さんご家族（山形県山形市）が化石の一部（写真A部分）を発見。その後、御所浦白亜紀資料館でも同様の化石を採集（写真B部分）し、それぞれ別々に保管されていました。

そして、同15年に岡本さんがこの化石の正体を知るために再び同資料館を訪れたことがきっかけで、2つの化石がつながることが判明。同資料館が福井県立恐竜博物館に鑑定を依頼し、共同で調査を行ってきました。

化石は、御所浦層群唐木崎層（中世代白亜紀後



▲発見された化石

期・約9,800万年前）の岩石から産出。東洋一・福井県立恐竜博物館特別館長は、「うろこの配列が明瞭で保存状態がきわめて良く、たいへん貴重な発見。今後、同様の化石が発見されることで、恐竜などは虫類の復元に役立つ可能性がある」と話していました。

響きわたるハイヤ節の歌声

牛深ハイヤ節全国大会

7月21・22日、牛深ハイヤ節の唄を競う「第12回牛深ハイヤ節全国大会」が牛深総合センターで開かれ、全国から104人が出場しました。同大会は、年代ごとに5つの部門を設けて予選・決勝（ジュニアの部は決勝のみ）を行い、ジュニアの部を除く各部門の優勝者で総合グランプリを競うもの。

結果は、青年の部で優勝した大阪府堺市から出場の地井麻実さんが、総合グランプリに輝きました。



▲熱唱する総合グランプリの地井さん

給水活動の円滑な実施に向けて

市と天草市管工事業協同組合が模擬訓練

災害で水道施設が被害を受けたときの、応急給水・復旧活動に関して協定を結んでいる市と天草市管工事業協同組合は8月4日、楠浦町で災害応急活動の模擬訓練を実施し、市や同組合の関係者35人が参加しました。訓練は、台風の影響で同町にある大門橋が損壊するなどして、付近一帯が断水したとの想定で実施。同組合から災害応急給水車が出勤し、現地で給水活動訓練などが行われました。



▲訓練のようす